

7. クリッカー補助プレート製作編

クリッカーの位置を前方向に伸ばしたい場合。

状況1

リリースであれば初心者段階から引き尺が安定してくるとクリッカーを試用し始める段階になる。

このときはまだ引き尺が確定していない場合が多く矢を新調する場合もショップでは幾分長く設定してある場合が多い。このような場合はパイタークリッカーのような長めのものを使用してもハンドルのタイプによってはハンドルの取り付けあなから伸ばしてもポイントの先端にあわせられないことがある。

状況2

室内大会などアルミ矢を新調した場合、太目の矢を選択した場合はスパインの状態を考えると矢は長めになってしまう。このときにク

状況3

矢が長めではあるが、どうせならクリッカーは垂直で合わせてきりたい場合。

これは余り傾いた状態でクリッカーを当てるとポイントの先端ではなくアールがついた部分で切れる形で切れる長さの繰り返し再現性が甘くなる恐れがある。

写真のものはかなり余裕のある長さになっているが実際矢の長さにおいて前後に調整する。

したの写真のものはアルミ矢用に作成したもので、2112を使うために長めになったもの。

クリッカー取り付け部は亚克力板で作成している。また、ハンドルのメーカーや型式の違いによってねじや位置が異なるので、軽量型の汎用式が並びで載せている。

クリッカー音のするための板は場合によってはアルミ板を強力両面テープで貼り付けても使うことが出来るが長めにするとケースに収めにくくなる。

どの状態に合わせるかは各自で判断しなければならぬところだろう。ただ余裕度として調整代がおおいいことは良いことだと思う。長めの多少柔らかく目から調整しながらカットしていくこともできる。切り過ぎると調整代がかなり制限されるから..

